

平成 18 年 2 月 7 日

物流連ニュースリリース

第 8 回 政策・広報委員会を開催

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成18年2月3日(金)14:00から東海大学校友会館「三保の間」において第8回政策・広報委員会[委員長:(社)日本物流団体連合 栗林 貞一 会長]を開催いたしました。

第8回委員会の主な内容は以下のとおりです。

1. 初等・中等教育における「物流」の扱いについて

(1) 教科書への対応について

前回委員会時に報告した学校教科書における「物流」に関する記述の調査結果をもとに議論を行った。各委員から提案・意見が表明されたが、共通の認識は現行教科書における物流に関する記述が不十分・不適切であることであった。

一方、中央教育審議会で現在進行中の学習指導要領の見直しのスケジュールは平成18・19年度となっている。

このため、文部科学省など関係機関に対して、物流を正しく理解させるため教科書の適切な記述を求める「要望書」を提出することで基本合意した。要望項目の詳細については、今後取りまとめを行い、早急に対応することとした。

(2) 教科書以外の方策について

教科書以外の方策についても各委員から提案等があったが、次回委員会で引き続き議論を行うこととなった。

2. 平成18年度大学寄附講座の実施について(報告)

平成18年度の大学寄附講座の実施について、春期に関西大学商学部、秋期に横浜国立大学経営学部でそれぞれ開講することを報告した。

以上

(連絡先) 担当 大橋、西城、千葉
03-3593-0139